

WAFCAホッ!とニュース

★第157号★ 2017/10/2 発行



WAFCAへの
連絡はコチラ
からどうぞ。

〈発信〉認定NPO法人アジア車いす交流センター(WAFCA)
住所 〒448-0834 愛知県刈谷市司町1-2 ふれあいプラザゆきそう内
TEL 0566-23-5822(内線5990-200) FAX 0566-23-5827(内線5990-900)
E-mail ZC8WAFCA@denso.co.jp URL <http://wafca.jp> もチェックを!
※所属などの変更の際はお知らせください。またこのニュースはE-mailアドレスを
お持ちでない方に送付しています。アドレスをお持ちの方は上記までご連絡下さい。

★★★ 目次 ★★★



- [1] タイ「車いす支援事業」
2017年度前期のご報告
- [2] 「Dance! Dance! Project」 in タイ
- [3] インドネシア車いす寄贈エリアの広がり
- [4] ご寄付のご報告
- [5] イベント出展のご報告

[1]タイ『車いす支援事業』2017年度前期のご報告

～11県で69台の車いすを寄贈、ウボンラチャターニー県にて寄贈式を行いました(9/8)～

2017年度前期の活動として、9月までにタイ11県で計69名の障がいのある子どもたちに車いすを寄贈しました。車いすは各県の特殊教育センターの協力によって子どもたちに届けられました。9月8日(金)、ウボンラチャターニー県において、今年8月に和歌山大学の学生団体の皆さんから支援いただいた6台を含む24台の車いすの寄贈式を行い、8名の子どもたちと保護者に車いすを手渡しました。式に先立ち、WAFCAの研修を受けた特殊教育センターの先生が車いすの使い方やメンテナンス方法を説明しました。寄贈式にはドナーのあいおいバンコクより副社長以下4名の方々にもご出席いただき、さらにバンコク商工会議所の事務局長に活動の様子をご見学いただきました。車いすを受け取ったブラック君(16歳)は、これまでに市役所と病院から2台の車いすを受け取りましたが、どちらもサイズが大きすぎて身体に合わず、使うことができませんでした。2年前に特殊教育センターを通じてWAFCAへ車いすを申請し、ずっと待っていました。今回受け取った車いすはシートのサイズ(横幅)も合っていて、センター職員にフットレストの高さも調整してもらい、正しい姿勢で座れるようになりました。後期は約30台の寄贈を計画しています!



車いすの使い方やメンテナンス説明



寄贈式での集合写真

[2]Dance! Dance! Project in タイ

～「車いすダンスキャンプ」あいおいバンコク様からの寄付金で実施(9/25～26)～

先月の「ホッ!とニュース」でもお伝えした国際交流事業のひとつ「車いすダンスプロジェクト」をタイにおいて重度心身障がい児を対象に「車いすダンスキャンプ」として実施しました!今回もWAFCA理事である寺田理事に渡航いただき、バンコクから車で約2時間のナコンナヨーク県において、タイ障がい児財団の協力のもと開催しました。キャンプには重度心身障がい児親子14組が参加しました。初日は寺田理事から車いすダンスに関する説明後、スペイン童謡、ワルツやタイのPOPソングまで様々な曲を使用してのダンスにチャレンジしました。比較的広いスペースで実施できたこともあり、大きなパラシュートや布、風船を使ったアクティビティまでできました。翌日は2グループに分かれて、ワルツとタイのPOPソングに合わせてチームで車いすダンスを披露しました。子どもたちの笑顔



車いすダンスを楽しむようす



車いすダンスキャンプでの集合写真

を見て喜びを感じる親御さんの様子に我々も大変うれしく思いました。インドネシアでの実施時にも感じた「継続的に実施していただけるか」が本企画のポイント。今回のキャンプでも車いすダンスを“楽しい”と感じ、“今日学んだことを忘れずに実施していきたい”と最後に話して下さった参加家族からの言葉に感無量でした。
「Dance! Dance! Project」、まだまだ続きます!

[3]インドネシア 車いす寄贈エリアの広がり

～国立リハビリテーション&職業センターとの協働～

9月12日(火)、国立リハビリテーション&職業訓練センター(以下、国立リハビリセンター)と車いすサービス提供に関する協働についての覚書を取り交わしました。

これによって、これまで首都のジャカルタ、北東に隣接するブカシ県を中心に行ってきたWAFCAIの車いすサービス提供活動が、北のデポック県、ポゴール県へと広がっていきます。国立リハビリセンターは1997年にJICAの支援により設立されたセンターで、主に就業期にあたる身体障がい者に対してリハビリと職業訓練を行っています。このセンターには、WHO推奨の車いす提供者トレーニングを受けているリハビリ専門スタッフも常駐しているため、センター利用者への車いすサービスだけでなく、地域内の車いすニーズのある人に対しても、WAFCAIスタッフと共に車いす提供をしていくことができます。センター代表者のウジャン氏は、「このセンターで暮らしている子どもたちは快適な生活ができています、



車いすサービス提供の協働に関する覚書の取交し



10か月間のトレーニングを終えて、地域に戻った時にはまた様々な課題にぶち当たるだろう。そう考えると、地域に貢献していくこと、地域に変化を促すことも私たちの大きな役目だと思っている。しかし、今まではほとんどがセンター内の活動に留まっていた。今回のWAFCAIとの協働によって、地域に貢献していくきっかけが出来たことをとても嬉しく思います。」と語ってくれました。今後の活動の広がりをぜひ一緒に応援してください。

← 第1回車いす寄贈(国立リハビリセンター前にて)

[4]ご寄付のご報告

～ありがとうございました！～

名古屋熱田ライオンズクラブさんよりご寄付いただきました！

名古屋熱田ライオンズクラブさんにはこれまでご寄付いただき、車いすを寄贈しています。2014年には50周年記念事業としていただいたご寄付でタイ東北地方の障がい児が通うラーニングセンターのバリアフリー工事を行うことができました。翌年2月に現地で行われた完成式典にも参加していただき、子どもたちとも交流していただきました。今回も、タイの障がいがある子どもたちへの支援をしたいとのことでご寄付を頂きました。ありがとうございました！



名古屋熱田ライオンズクラブさま定例会にて

[5] イベント出展のご報告

～愛フェス2017(9/16)&ハートフルまつり(9/24)

愛・地球博記念公園で開催されたファンレイジングイベント「愛フェス」に刈谷にある団体さんとともに刈谷ブロックとして出展しました！

ブースでは取り組んでいる活動を来場者に伝えながら、障がい者が作るチャリティ商品の販売を行いました。

ステージで行われた「地元愛グランプリ」で刈谷ブロックではグランプリをいただきました。



活動紹介をするスタッフ

デンソーグループハートフルまつり2017に出展しました！

デンソー社員ボランティア「障がい者施設を元気にチーム」の皆さんとともに、パラリンピック正式種目「ボッチャ」体験、チャリティ商品販売、バルーンアートプレゼントを行いました。

また今年のまつりの目玉プログラム「こどもシティ in デンソー」に参加した子どもたちがWAFCAIのブースでチャリティ商品販売の体験をしてくれました。



商品販売体験をすること子どもたち



協力いただいたハートフルフレンドさん